

編集者向け

閲覧者向け



Handbook

機能ガイド



HTMLコンテンツ表示

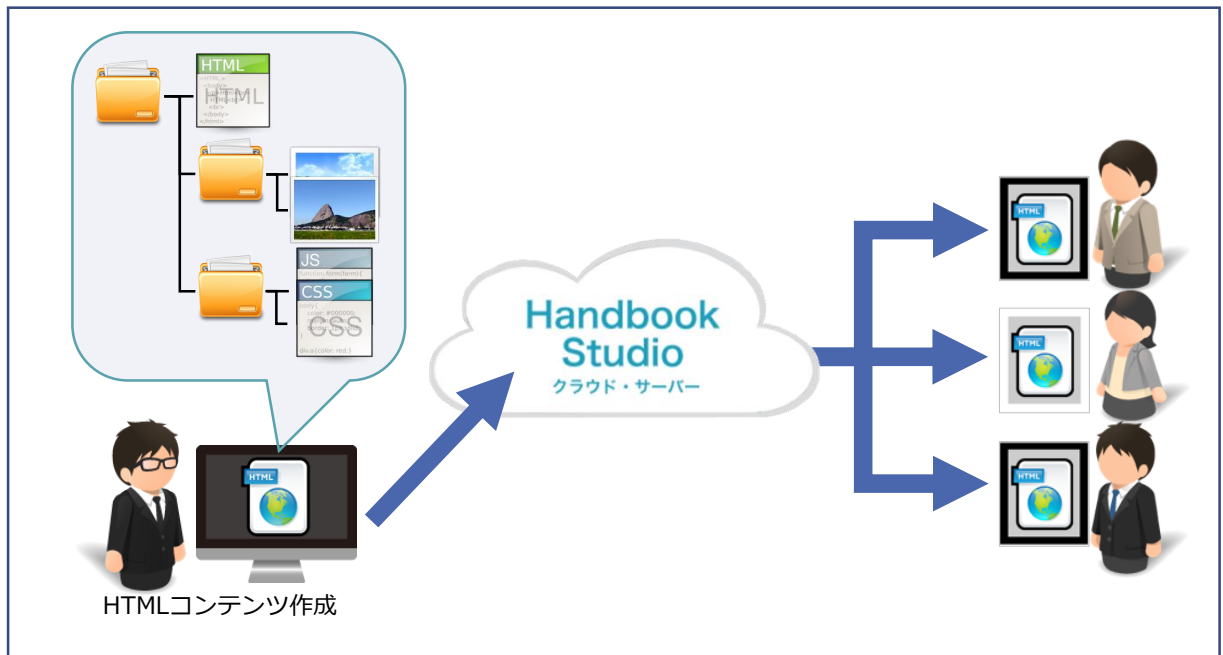
2018年3月版

機能概要

- ◆ HTMLコンテンツとはHTMLファイルやCSS、JavaScript、画像ファイルなどをZIP形式で圧縮したファイルです。
- ◆ OSが提供するレンダリングエンジンによりHTMLコンテンツを表示する機能です。
- ◆ CSSやJavaScriptを含むディレクトリ構造をそのまま配信できます。
- ◆ 作成したコンテンツを簡単かつセキュアに配信できます。
- ◆ アプリ開発に比べて初期・継続コストを抑えられます。
- ◆ オーサリング型のデジタルカタログサービスではできない高い表現力やインタラクティブ性を持つコンテンツを作成することが可能です。

利用シーン

- ◆ アパレルなどの販売店や不動産、イベント会社などの営業で、表現力が必要となる場面で利用できます。



使い方

HTMLコンテンツの作成方法

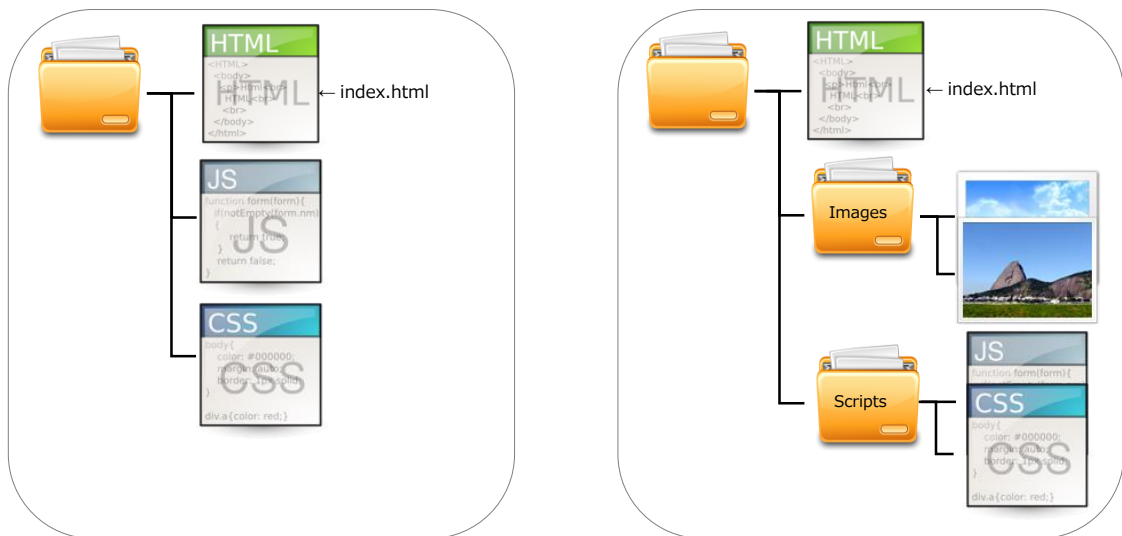
1 HTMLコンテンツの構造

HTMLコンテンツは、zip形式で圧縮されたファイルで、拡張子が「.hcz」となります。

HTMLコンテンツには、HTMLファイルをはじめ、コンテンツを構成するCSSやJavaScript、画像ファイルなど、各デバイス（iOSやAndroid OS）のHTML表示機構（レンダリングエンジン）がサポートするファイルを含めることができます。また、HTMLコンテンツ内にはディレクトリを含めることもできます。

※ディレクトリ名やファイル名に日本語（2バイト文字）が含まれている場合、Handbookアプリで正しく動作しない場合がありますので、HTMLコンテンツ内のディレクトリ名やファイル名には半角英数字を使用してください。

HTMLコンテンツの構造



Handbookアプリは、各デバイス（iOSやAndroid OS）のHTML表示機構（レンダリングエンジン）を使って、HTMLコンテンツのルートディレクトリにある「index.html」を最初に表示します。

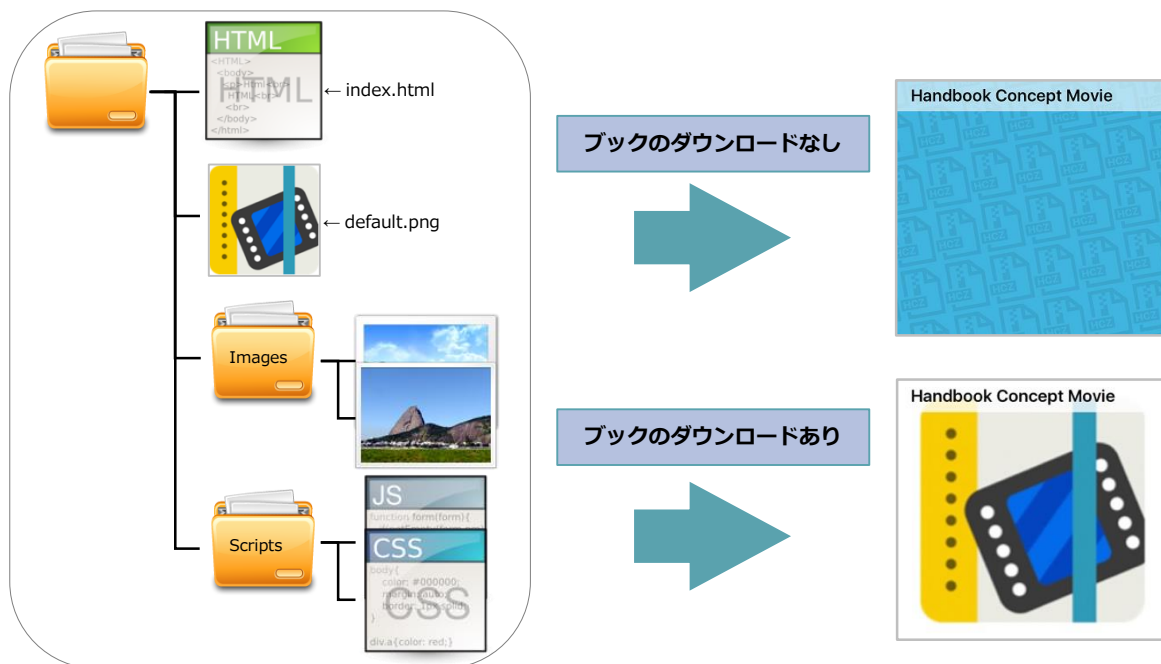
2 HTMLコンテンツの作成

HTMLコンテンツにサムネイルを設定する

HTMLコンテンツのルートディレクトリに「default.png」というファイル名で画像ファイルを配置することで、そのHTMLコンテンツが登録されているブックをHandbookアプリでダウンロードした場合に、セクション一覧で「default.png」をサムネイルとして表示することができます。

「default.png」が配置されていない場合は標準のファイルアイコンが表示されます。

※「default.png」のサイズについては、利用されるデバイスなどにより異なります。利用されるデバイスで確認しながら、最適と思われるサイズまで調整してください。正方形に近い画像を使用することで、比較的各デバイスに適した状態で表示されやすくなります。iOSデバイスの場合、セクションレイアウトが6分割であれば、300pxくらいの画像から最適と思われるサイズに調整ください。

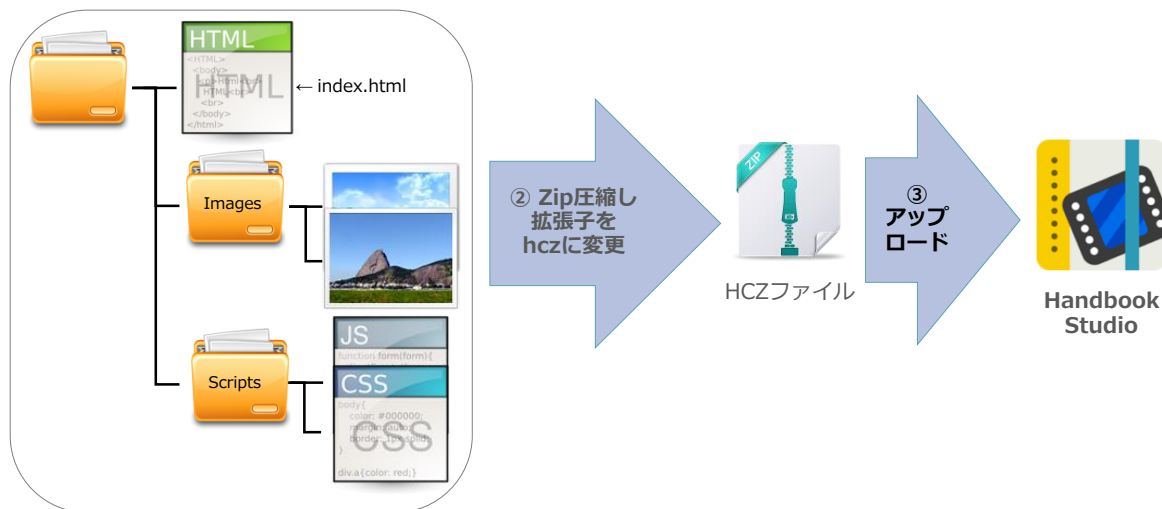


HTMLコンテンツを作成する

HTMLコンテンツを作成する手順は、以下のとおりです。

- ① 任意のディレクトリにコンテンツを作成
- ② zip形式で圧縮し、拡張子を「.hcz」に変更
- ③ Handbook Studioでブックを開き、セクション一覧画面で②のファイルを登録

① 任意のディレクトリにコンテンツを作成



制限事項

HTMLコンテンツを作成する際の制限事項は、以下のとおりです。

- レンダリング挙動についてはサポート対象外です。
HandbookアプリでのHTMLコンテンツ表示は各OSが提供しているHTMLのレンダリングエンジンを利用しています。レンダリングの挙動については各レンダリングエンジンの開発元にお問い合わせください。
- DBや外部Web APIなどとの通信はサポート対象外です。そのため、以下のような機能は実現できません。
 - 外部から情報を得て表示する。
 - ユーザ個別に閲覧制限を設ける。
 - コンテンツの編集を内部で行う。※ アプリからサーバにデータを送信することは可能です。
- JavaScript以外のプログラム言語の実行はできません。

※HTMLコンテンツは、2018年3月時点で、iOS版／Android版のHandbookアプリで閲覧できます。

ヘルプ

ガイド、マニュアルやお問い合わせは「ヘルプセンター」をご覧ください。

<https://handbook.jp/support/>